

一 漢字の読み

次の 線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

1

日本人としての誇り。

2

城下町金沢に暮らす。

3

郷土のために尽くす。

4

彼の口調は穏やかだった。

5

白山のふもとで、雪崩が発生した。

6

だれにでも寛大な心で接する。

二 漢字の書き

次の 線部の言葉を漢字で書きなさい。

1

一問目は、やさしい問題だ。

2

友達の言葉に心がこわれる。

3

記憶がアザやかによみがえる。

4

優秀なセイセキを収める。

5

企画を細部までケントウする。

6

スポーツマンとしてふさわしいセイシンを養う。

7

事務所が隣の町にイテンする。

三 接尾語、接頭語

() () の中に例の言葉の 線部と同じ接頭語・接尾語が入るものを一つ選び、記号で 答えなさい。

1

例 非常識

ア、() () 公開の裁判
ウ、() () 期限の約束

イ、() () 発達の器官
エ、() () 完全な作品

2

例 食事中

ア、事実 () () の決勝戦
ウ、問題 () () の行動

イ、外出 () () の出来事
エ、一貫 () () がない例

四 熟語、同訓異字等

1

例を参考にして、上から下、左から右に四組の二字の熟語ができるように、 にあて はまる漢字を書きなさい。

図

例 会 () () 唱 答え

合

割

点

相

1 協 () () 士

2 手 () () 都

底

部

3

同訓異字の組み合わせとして適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、謝る・諮る イ、図る・測る ウ、映える・生える エ、診る・看る

4

次の言葉を漢字で書いたとき、同じ漢字にならない組み合わせを一つ選び、記号で答 えなさい。

ア、やわらぐ・なごむ
ウ、つどろ・あつまる

イ、むすぶ・しばる
エ、ひそむ・もぐる

五言葉の意味

次の 線部の意味に最もよくあてはまる言葉を一つ選び、記号で答えなさい。

1

エーミールが繕うための努力の跡が認められたが、壊れた羽は直すよしもなかった。
ア、道具がなかった。
ウ、方法がなかった。
イ、良い人がいなかった。
エ、説明がなかった。

2

この事故は単なる過失とは思えない。
ア、とるにたりない
ウ、例を出して言えば
イ、ただそれだけの
エ、おおまかにいって

3

そろそろ生まれてくるかまきりに兄ちゃんはおろおろするばかりだった。
ア、うるたえる
イ、心配する
ウ、ふざける
エ、興奮する
次の意味に最もよくあてはまる言葉を一つ選び、記号で答えなさい。

4

「心の底から実感すること」
ア、身に余る
ウ、身にしみる
イ、身をくだく
エ、身を入れる

5

「動作などがなめらかでない様子」
ア、ぎこちない
ウ、さわがない
イ、よどみない
エ、いたたまれない

6

次の文の（ ）に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。
微生物は、地球環境を支えるうえでも大きな役割を（ ）。
ア、満たす
イ、果たす
ウ、終える
エ、残す

7

限りある地球の資源をできるだけ（ ）よく使っていかなければならない。
ア、比重
イ、比率
ウ、効果
エ、効率

8

相手の（ ）をそぐような作戦に出た。

ア、気合い

イ、気性

ウ、気配り

エ、氣勢

次の言葉の使い方として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

9

「うってつけ」

ア、この店でうってつけの蕎麦そばはおいしいと評判である。

イ、彼の部屋の壁にはうってつけた棚が設けてあった。

ウ、前日の嵐とはうってつけたように、今日は好天となった。

エ、秋はハイキングにうってつけの季節だ。

10

「晴れがましい」

ア、会場いっぱい拍手を受け、晴れがましい思いがした。

イ、冬には珍しく、晴れがましい青空が広がっていた。

ウ、怪しい行動をとって疑われたが、彼は晴れがましい。

エ、金沢二十一世紀美術館の入場者は年々増加し、晴れがましくなった。

11

「非の打ちどころがない」

ア、非の打ちどころのないくらい忙しくて、休む余裕もない。

イ、今年は例年になく大雪で、非の打ちどころのない冬である。

ウ、生徒会長としての彼の行動は非の打ちどころのないものであった。

エ、努力の結果は、非の打ちどころがないくらい明らかだ。

六

類義語、対義語、多義語

1

類義語の組み合わせとして適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、具体的に・詳細に

イ、丹念に・丁寧に

ウ、得意げに・自慢げに

エ、簡潔に・端的に

2

対義語の組み合わせとして適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、延長・短縮

イ、許可・禁止

ウ、主観・客観

エ、絶対・応対

3

「どんな手を使ってでも勝ちたい」の「手」と同じ意味で使われているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、姉は新しい洋服のそでに手を通した。

イ、家宝が人の手に渡った。

ウ、どんなときも手を抜いてはいけない。

エ、姉は思いもかけない手で反撃をした。

七 漢語、和語、古語、敬語、接続語等

1

関係の深い言葉の組み合わせとして、適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、るり色・火桶の火

イ、もえぎ色・若い樹の芽

ウ、あかね色・夕焼け空

エ、こがね色・一面の稲穂

2

ほぼ同じ意味を持つ漢語と和語の組み合わせとして、適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、規則・きまり

イ、流行・しきたり

ウ、伝言・ことづけ

エ、評判・うわさ

3

ほぼ同じ意味を持つ古語と現代語の組み合わせとして、適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、をかし・風情がある

イ、つきづきし・似つかわしい

ウ、心うく・うきうきする

エ、ゆかし・知りたい

4

() に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

(隣に引越してきた人が)「引越しのごあいさつに来ました。おうちの方は

()。

ア、おりますか

イ、まいられますか

ウ、うかがいますか

エ、いらっしゃいますか

5 「父の時計は古いが、正確に動いている。」の一文を「接続する語句」を用いて二文にするとき、() に入る最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- 「父の時計は古い。」()、正確に動いている。」
ア、だから イ、さて ウ、また エ、しかし

八 慣用句、ことわざ、四字熟語など

次の文の() に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

1 「あまりに天候がよいので、少し()。」

- ア、足を運んだ イ、足を奪われた
ウ、足を伸ばした エ、足を引っ張った

2 「絵を描くことでは、兄のわたしも妹には()。」

- ア、歯牙にも懸けない イ、歯を食いしばる
ウ、歯に衣着せない エ、歯が立たない

3 「心機()」

- ア、一髪 イ、一貫 ウ、一転 エ、一体

4 「温故()」

- ア、知親 イ、地親 ウ、地新 エ、知新

5 次の「()」の意味を表すことわざを一つ選び、記号で答えなさい。

「あれこれと懸命に考えること。」

- ア、知恵をしぼる イ、水を向ける
ウ、言葉を尽くす エ、花道を飾る

6 次の「()」の意味を表すことわざを一つ選び、記号で答えなさい。

「途中でやめられない状態。」

- ア、立て板に水 イ、たかをくくる
ウ、乗りかかった船 エ、渡りに船

次の言葉の内容に最も合致している文を一つ選び、記号で答えなさい。
「登竜門」

- ア、流れの急な川は、竜でも登ることができない。
- イ、詩や文章の字句を練り、書き直すことは大切だ。
- ウ、一番大切な最後の仕上げは、忘れないようにしたい。
- エ、大きな賞をとることは、作家への第一歩となる。

次の言葉の内容に最も合致している文を一つ選び、記号で答えなさい。

「単刀直入」

- ア、問題はすばやく処置され、混乱はなかった。
- イ、前置きもなく、いきなり質問され困惑した。
- ウ、単なる考えで終わらせず、直に現地で取材してみた。
- エ、初めから終わりまで、一人で彫刻を仕上げた。

次の言葉の使い方として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。
「蛇足」

- ア、蛇足を怖がって、絶好のチャンス逃してしまった。
- イ、森の中を探検し、ようやく蛇足をとることができた。
- ウ、蛇足とは思うが、さらに説明しておくことにしよう。
- エ、よく考えて行動することで、ついに蛇足となった。

「枕草子」第一段、「春は（ ）に入る言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、あけぼの
- イ、夜
- ウ、夕暮れ
- エ、つとめて

「（ A ）眠暁を覚えず 処処啼（ B ）を聞く」の A・Bに入る漢字の組み合わせとして正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、春・魚
- イ、春・鳥
- ウ、冬・雁
- エ、冬・熊

手紙を書く場合、「拝啓」で書き始めたときの結びとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、謹啓
- イ、敬具
- ウ、草々
- エ、御中

これで、語彙力金沢検定の問題はおわりです。
もう一度、見直しましょう。

時間がある人は、次ページの発展コーナーにも挑戦しましょう。
ただし、採点には含まれません。

ここからは、発展コーナーです。

時間があれば、挑戦してみましょう。なお、得点には含まれません。

1 次の()に入る適切な漢字を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- 「() (黒はつきりさせる」 「() (旗を上げて降参する」
- 「() (羽の矢が立つ」 「清廉潔() (な人」
- ア、赤 イ、青 ウ、黄 エ、白

答え

2

() ()の中に入る数字を足して、十にならない言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、() () () (時中 イ、() () () () (分)
- ウ、三三() () () () () (期) () () (会)

答え

3

矢印の方向に読むと、漢字二字の熟語ができる、() ()にあてはまる漢字を書きなさい。

強

ア、候 () () 欠

印

イ、注 () () 面

助

測

答え

4

例にならって、次の四字を組み合わせ、二字の熟語を作りなさい。

- | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|--|----|
| 例 | 牛 | + | 言 | + | 寺 | + | 午 | | 特許 |
| ア、 | 制 | + | 矢 | + | 衣 | + | 金 | | |
| イ、 | 反 | + | 民 | + | イ | + | 目 | | |
| ウ、 | 言 | + | 共 | + | 義 | + | 田 | | |
| エ、 | 口 | + | 頁 | + | 是 | + | 門 | | |

答え

エ

ウ

イ

ア

7 移転	6 精神	5 検討	4 成績	3 鮮	2 揺	1 易	二 漢字の書き	6 かんだい	5 なだれ	4 くちよう	3 つ	2 く	1 ほこ	一 漢字の読み	1 p	
				やかに	れる	しい		な			くす	らす	り			
							4 イ	3 ア	2 首	1 カ	四 熟語、 同訓異字等	2 イ	1 ア	三 接尾語 接頭語	2 p	
								エ	イ	ア	ウ	ア	イ	ウ	五 言葉の意味	3 p
						2 エ	1 ア		六 多 対 類 義 義 語 語 語		ウ	ア	エ	エ		4 p
							4 エ	3 ウ	2 イ	1 ア		七 漢語、 古語、 敬語 和語	3 エ			5 p
								ウ	ア	エ	ウ	エ	ウ	八 慣用句 ことわざ 四字熟語等	5 エ	6 p
									イ	イ	ア	ウ	イ	エ		7 p